

地元店舗生徒が発信

東高生のウェブサイト発表会

大船渡で



一般社団法人SAV E T A K A T A (陸前高田市、佐々木信秋代表理事)とアローリンクス(株)(大船渡市、川原夕輝代表取締役)が主催する高校生が制作した地元店舗や自主活動のウェブサイト発表会は23日、大船渡市立根町のカフェ&バー「ルポゼ」で開かれた。高校生が積極的に制作した成果をもとに、訪れた市民らが交流を深めた。

高校生たちが自らの取り組みを発表し立根町

両組織は5月以降、県立大船渡東高等学校の情報処理科の授業として「ウェブ制作教室・ワークショップ」を開いたほか、ウェブ制作に興味がある高校生を対象にした校外での「ウェブ制作集中教室」を重ねた。集中教室は制作スキル向上を図りながら技術者として働くイメージを持つとともに、地域への魅力を深めてもらおうと開催。発表会は、より制作に自信を持つようとおうと企画された。

この日は教室に参加した情報処理科2年の高橋光希君、高橋信次君、佐藤真弥君、機械科2年の橋本陸君のほか、市民ら約30人が来訪。事業紹介に続き、

4人が制作したトゥルモンド(盛町、洋菓子店)、ユキグランパ(同、カフェ)、ルポゼ、地域防災・救急救命活動の発表が行われた。

店舗の魅力や的確な情報を伝えようと奮闘した高校生たちが自らの活動を振り返ったほか、来場者と懇親の場

も設けられた。ルポゼを担当した佐藤君は「ページの見やすさや、店内のおしゃれさをどう伝えるかを大事にしてきた」と語り、充実の経験を振り返った。

平成22年に設立し、ソフトウェア開発を中心としたIT事業を展開

開いているアローリンクスの川原代表は「気仙でもウェブ制作ができることや、さまざまな業種の仕事があることを知る機会になったのでは。IT以外にも、若者と地域社会との接点を増やす取り組みをしていきたい」と話していた。